

小中学生の携帯電話に関する調査」

小学生の携帯電話所有率は3割、
携帯電話を所有する中学生はほとんどが大人向け携帯電話

バンダイネットワークス株式会社
株式会社ネットマイル

バンダイネットワークス株式会社(代表取締役社長:大下聡、本社:東京都港区、以下、バンダイネットワークス)と株式会社ネットマイル(代表取締役:山本雅、本社:東京都千代田区、以下、ネットマイル)は、共同で展開している小中学生を対象としたネットリサーチサービス『キッズリサーチ』において、「小中学生の携帯電話に関する調査」を実施いたしました。

2007年3月1日に、バンダイネットワークスが運営する小中学生を中心に30万人以上の会員が参加する情報交換サイト「サークルリンク」内においてアンケートを実施、回答の集計を行い、有効回答者は507名(女の子74.8%、男の子25.2%)でした。

調査結果概要

回答の結果から、携帯電話を所有しているのは全体の3割ほどで、所有するようになったきっかけは「塾や習い事をはじめようになってから」と回答した人が多く、また、携帯電話を持たない理由では、「欲しいが買ってもらえない」と回答した人が6割以上となりました。

主な回答結果は以下となります。

小学生の携帯所有率は3割ほど

「あなたは携帯電話をもちますか?」という質問をおこなったところ、全体では「もっていない」が72.8%、「自分専用のものをもっている」が22.1%、「家族共用のものをもっている」が5.1%となっており、「もっている」の回答は3割ほどとなりました。

学年別でみると、学年があがるほど携帯電話所有率が高くなり、中学生では所有率が半数以上となりました。

携帯電話を持たないのは「欲しいけど買ってもらえないから」

「携帯電話を持っていない」と回答した369名に対し、「もっていない理由は何ですか?」という質問をおこないました。全体では、「欲しいけど買ってもらえないから」が66.1%と突出して高、「自分には必要ないから」は19.2%で、他の項目は1割を下回る結果となりました。

性別でみると、「欲しいけど買ってもらえないから」(女の子:71.3%、男の子:50.0%)では女の子の回答が高く、「自分には必要ないから」(女の子:13.3%、男の子:37.8%)では男の子の回答が高い結果となりました。

「今後の携帯電話の購入予定はない」が6割

「携帯電話を持っていない」と回答した369名に対し、「今後購入の予定はありますか?」という質問をおこないました。全体では「今は購入の予定はない」が60.2%と突出し、次に「入学お祝いで購入する予定」は12.7%で、他の項目は1割を下回る結果となりました。

学年別でみると、小学生では「今は購入の予定はない」が突出して高くなっていますが、「入学お祝いで購入する予定」が37.5%、「今は購入の予定はない」が33.3%となっており、「購入予定あり」と「購入予定なし」で二極化の傾向にあるようです。

携帯電話のキャリアは「NTT DoCoMo」と「au by KDDI」

「携帯電話を持っている」と回答した138名に対し、「もっている携帯電話はどこのキャリアですか?」という質問をおこないました。全体では「NTT DoCoMo」が37.7%、次いで「au by KDDI」が36.2%と、この2つのキャリアが全体の7割以上を占める結果となりました。また「SoftBank (vodafone)」は18.1%、「WILLCOM (papipo!)」は2.9%でした。

学年別でみると、小学3-4年生、小学5-6年生では「NTT DoCoMo」が最も高く、以下「au by KDDI」、「SoftBank (vodafone)」、「WILLCOM (papipo!)」の順で続きました。中学生は「au by KDDI」が46.2%と最も高く、以下「NTT DoCoMo」(34.6%)、「SoftBank (vodafone)」(11.5%)の順で続きました。また中学生では「WILLCOM (papipo!)」は0.0%でした。

「大人向け携帯電話」所有しているのは6割以上

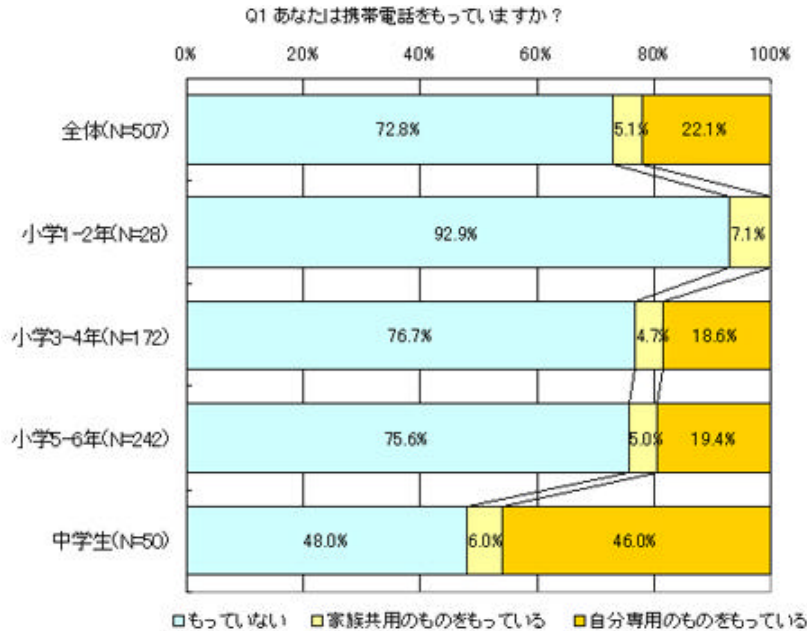
「携帯電話を持っている」と回答した138名に対し、「もっている携帯電話はどんな携帯ですか?」という質問をおこないました。全体では「大人向け携帯電話」が58.8%、「子供向け携帯電話」が31.2%という結果となりました。

学年別でみると、小学3-4年生では「子供向け携帯電話」(67.5%)が「大人向け携帯電話」(42.5%)を上回り、小

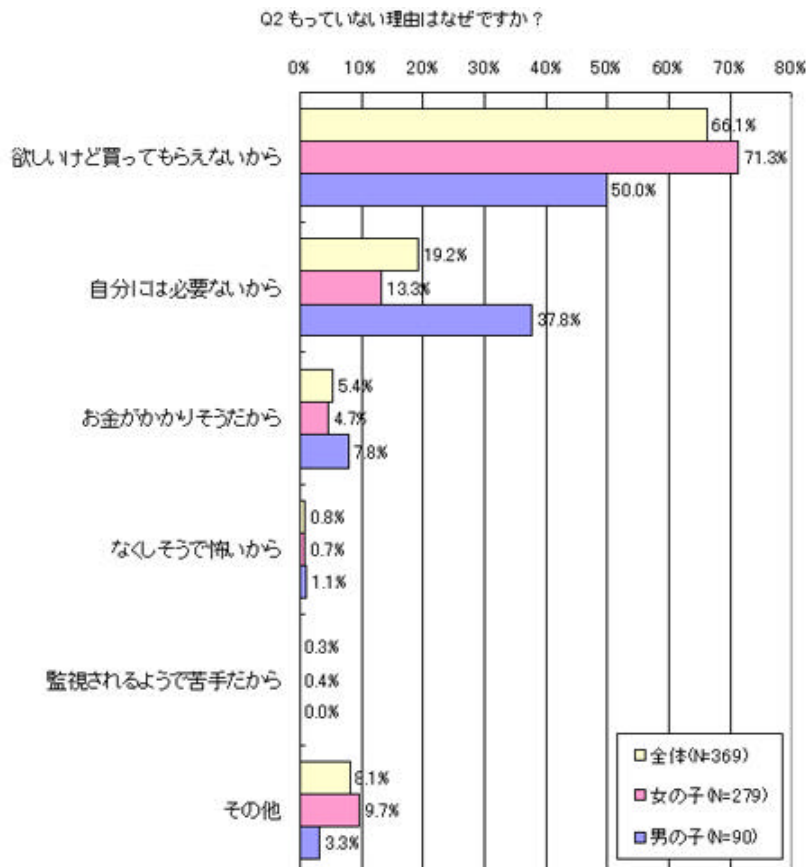
学5-6年生、中学生ではこの傾向が反転し、「大人向け携帯電話」(小学5-6年生 :69.5%、中学生 :96.2%)が「子供向け携帯電話」(小学5-6年生 :30.5%、中学生 :3.8%)を上回る結果となりました。また、中学生では「大人向け携帯電話」が9割以上であり、携帯電話を所有するほとんどの中学生が「大人向け携帯電話」であることが示唆されました。

アンケートの詳細は、<http://research.netmile.co.jp/>をご確認ください。

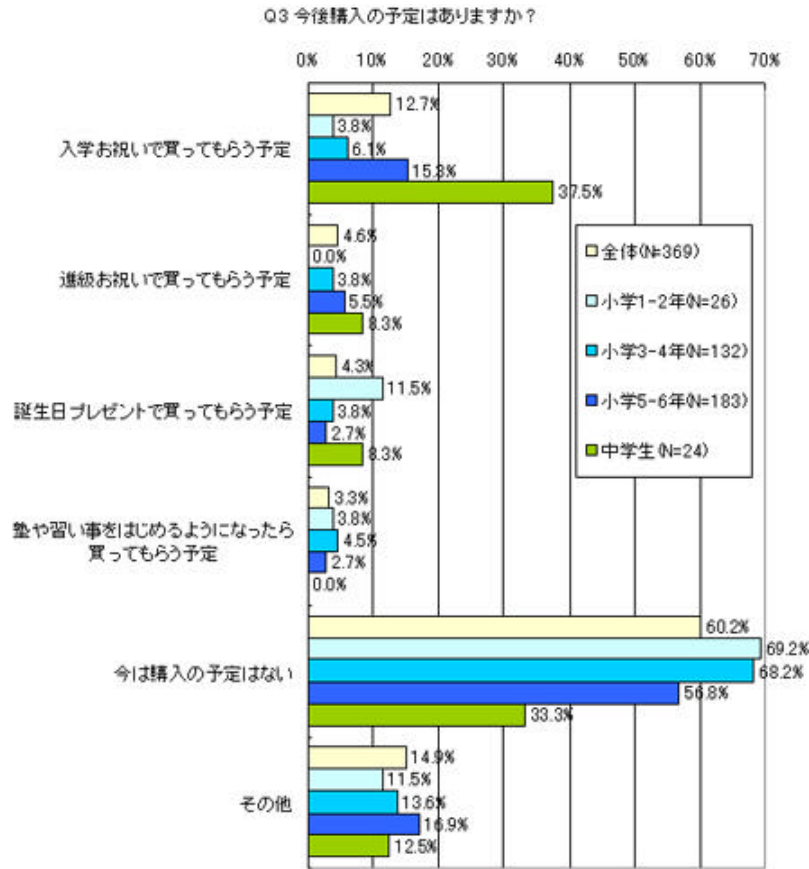
あなたは携帯電話をえていますか？



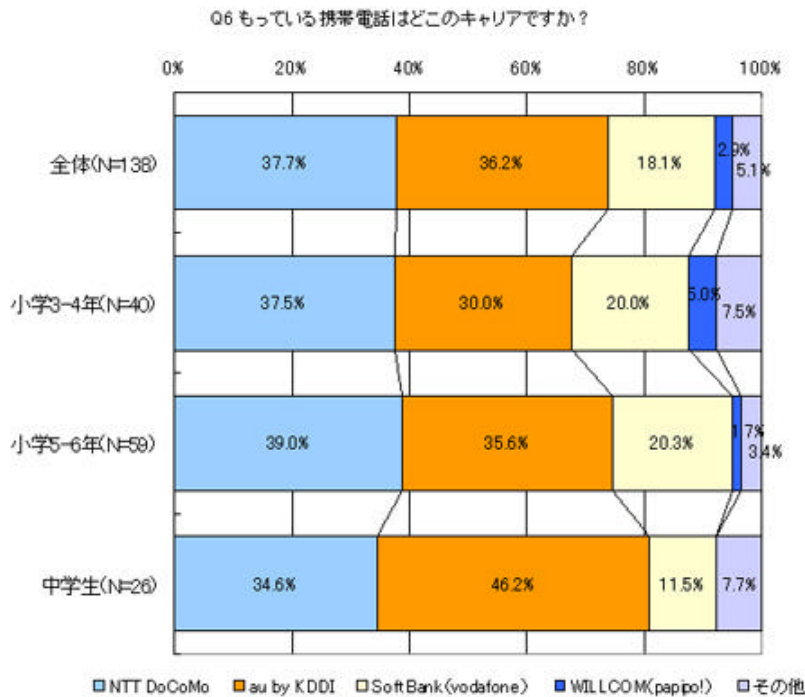
もっていない理由はなぜですか？

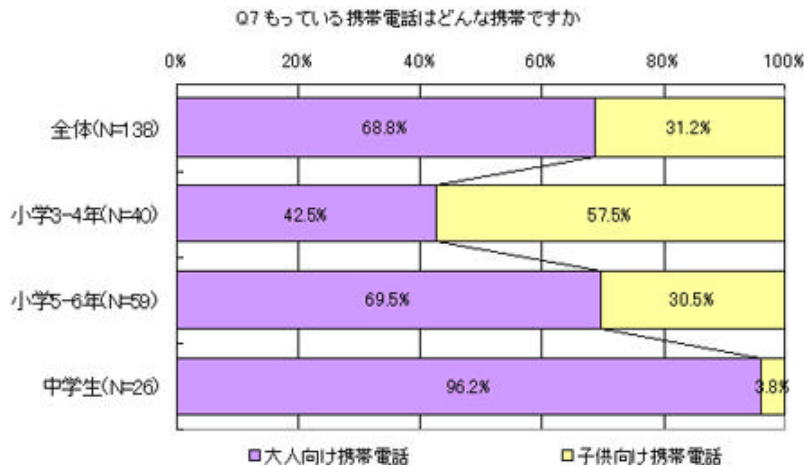


今後購入の予定はありますか？



もっている携帯電話はどこのキャリアですか？



もっている携帯電話はどんな携帯ですか？

調査概要
設問項目：

- 1) 性別は？
- 2) あなたが通っているのは？
- 3) あなたの年齢は？
- 4) あなたは携帯電話をもちますか？
- 5) もっていない理由はなぜですか？
- 6) 今後購入の予定はありますか？
- 7) あなたはどんなきっかけで携帯電話をもちようになりましたか？
- 8) 携帯電話を買ってくれたのは誰ですか？
- 9) もっている携帯電話はどこのキャリアですか？
- 10) もっている携帯電話はどんな携帯ですか？
- 11) 主な使い道は何ですか？
当てはまる物にいくつでもチェックしてください。
(メール、通話、カメラ、音楽プレーヤー、ゲーム、WEB閲覧、その他)
- 12) おもな通話・メール相手はだれですか？
- 13) 有料コンテンツは使用していますか？
当てはまる物にいくつでもチェックしてください。
(着うた、着メロ、待受画面、ゲーム、デコレーションメール、ニュース配信、SNS、路面検索、その他、使用していない)
- 14) 携帯を買うとき(買うとしたら)に気にするのはどこですか？
当てはまる物にいくつでもチェックしてください。
(見た目のデザイン、通話料・プラン、操作のしやすさ・簡単さ、絵文字の種類、着メロの種類、メーカー、大きさや厚さ、重さ、こども向け携帯電話であること、大人向け携帯電話であること、キャリア・携帯電話会社、その他、特になし・わからない)

調査方法： 情報交換サイト「サークルリンク」(<http://link.channel.or.jp/>)会員向け特別ページにおけるクローズド型インターネット調査

調査対象者： 全国の小中学生を中心とした「サークルリンク」会員

調査期間： 2007年3月1日

有効回答数： 507名
 女の子 74.8%、男の子 25.2%
 幼稚園 保育園 0.8%、小学1年生 2.0%、小学2年生 3.6%、小学3年生 10.3%、小学4年生 23.7%、小学5年生 31.2%、小学6年生 16.6%、中学1年生 6.1%、中学2年生 2.2%、中学3年生 1.6%、高校生以上 2.2%

キッズリサーチ」について (URL : <http://research.netmile.co.jp/service/kidsresearch.html>)

バンダイネットワークスとネットマイルが行う**キッズリサーチ」**は、バンダイネットワークスが運営する小中学生を中心に30万人以上の会員が参加する情報交換サイト「**サークルリンク**」と連携し、「**小中学生**」を対象としたネットリサーチサービスです(サービス開始は2006年11月29日)。

従来、小中学生向けに市場調査(マーケティング・リサーチ)を行う場合、ご両親が本人の代理で回答を行う郵送や電話調査が大半を占め、ご両親が代理で回答を行うために、実際に小中学生の“生の声”を聞くことが非常に難しく、アンケートの実施期間もかかり、サンプル数も限られていました。この「キッズリサーチ」では、小中学生を中心とした「サークルリンク」の30万人を超える会員の方々に協力していただくことにより、今まで聞けなかった小中学生の“生の声”をインターネットを利用して取得することができます。

今後も毎月、小中学生を対象に様々な切り口でアンケート調査を実施してまいります。

「サークルリンク」について (URL <http://link.channel.or.jp/>)

「サークルリンク」は、小中学生を中心に30万人以上の会員が参加する情報交換サイトです(サービス開始は、2005年11月23日)。「サークルリンク」では、曜日毎に、“キャラクター”、“ファッション 恋愛”、“エンタメ”などをテーマとした各種投稿を小中学生から受け付けており、編集部で選別紹介を行っています。1日当たり4,000通を超える投稿が届く人気コーナーとなっています。また、人気キャラクターを利用したゲームや、アバターサービス、日記の公開等も楽しめる内容となっております。

2006年11月2日からは、日本テレビ放送網株式会社と共同で、第2日本テレビにおいて、サイトと連動した放課後情報バラエティ「サークルリンクTV」(無料配信 <http://link.channel.or.jp>)を開始しており、更なる会員の獲得を図っています。